

部下の葬儀での弔辞文例

「謹んで故小島俊夫君のご霊前に申しあげます。

あなたが、慈恵医大病院に入院されましたのは桜の散りはじめた四月中旬でありました。その後、経過良好というお知らせに安心しておりましたのに、にわかには容体急変されてついに永眠されたという悲しいお知らせに接して、まったく茫然自失したのであります。

元気で、仕事と取り組んでおられたあの烈々たる闘志あふれるあなたのお姿に、もう目のあたりに接する術もないと思いますとき、人生の無常を痛感し、寂寞の思いに身もしめつけられる悲しさであります。

あなたは、八年前にわが社に入社され、以来、営業部にあつて日常きわめて熱心に執務され、とくに先年、新製品「ウーレル」の発売にあたっては、関西の取引先を馳駆奔走して販路開拓に文字どおり粉骨砕心されました。その結果、予想以上の業績を挙げる事ができ、以来社業は大いに発展を見るに至ったのであります。

その努力と功績に報いるべく、昨年四月、とくに営

業部副部長の重職に任せられ、社は今後のご活躍に多大の期待をかけていたのであります。

しかるに今、前途有為のあなたを失うことは、社にとつても大きな痛手であり、じつに痛恨に堪えません。

われわれ社員一同もまた衆望と信頼を集めておられたあなたを失つて、悲嘆と哀惜の念に打たれないものはありません。

しかもご家庭にあつてはよき夫として、よき父として幸福な生活を営まれていたあなたであったことは、われわれもよく知悉しているところであります。それだけにご遺族のご悲嘆は拝察するだけに胸のふさがる思いがするのであります。及ばずながらわれわれ一同も今後できる限りお力になりたいと心に念じております。

小島君、どうぞ心安らかにお眠りください。あなたのご冥福を祈り、これをもって最後のお別れのことばといたします」

出 棺

遺族のあいさつ例

遺族を代表いたしまして、皆さまにひとこと、ごあいさつを申しあげます。

本日はご多用中にもかかわらず、ご会葬、ご焼香を賜わり、おかげをもちまして葬儀・告別式もとどこおりなく相すみ、これより出棺の運びとなりました。

生前は一方ならぬご厚誼にあずかり、いまここに最後のお見送りまでいただきまして、故人もさぞかし皆さまのご厚情を感謝いたしておることと存じます。

なお、残されました母と私どもきょうだいに対しましても今後とも亡父生前と変わりなきご指導ご交誼を賜わりますようお願い申しあげまして、ごあいさつを終わらせていただきます。

喪主あいさつ(喪主が子供の場合)①

皆様、本日はご多忙のところ、父の葬儀に鄭重な弔問をいただきまして、まことにありがとうございますございました。

明治生まれの父は、家督をゆずりまして以来孫を相手に、悠々自適にすごしておりましたが、昨日明け方〇〇病院で眠るがごとくに八十八才の生涯を閉じました。

若い時からさまざまな苦勞も味わい尽くした生涯ではありましたが、まさに天寿を全うした最後であったというべきかもしれせん。

父が晩年を豊かに過ごすことが出来ましたのも、偏に皆様方のご厚情の賜と深く感謝致しております。

これからは残されたものの力を合わせて父の意志を受け継いでゆきたいと思ひます。これまで同様のご指導ご鞭撻をお願い致しまして、お礼のごあいさつといたします。